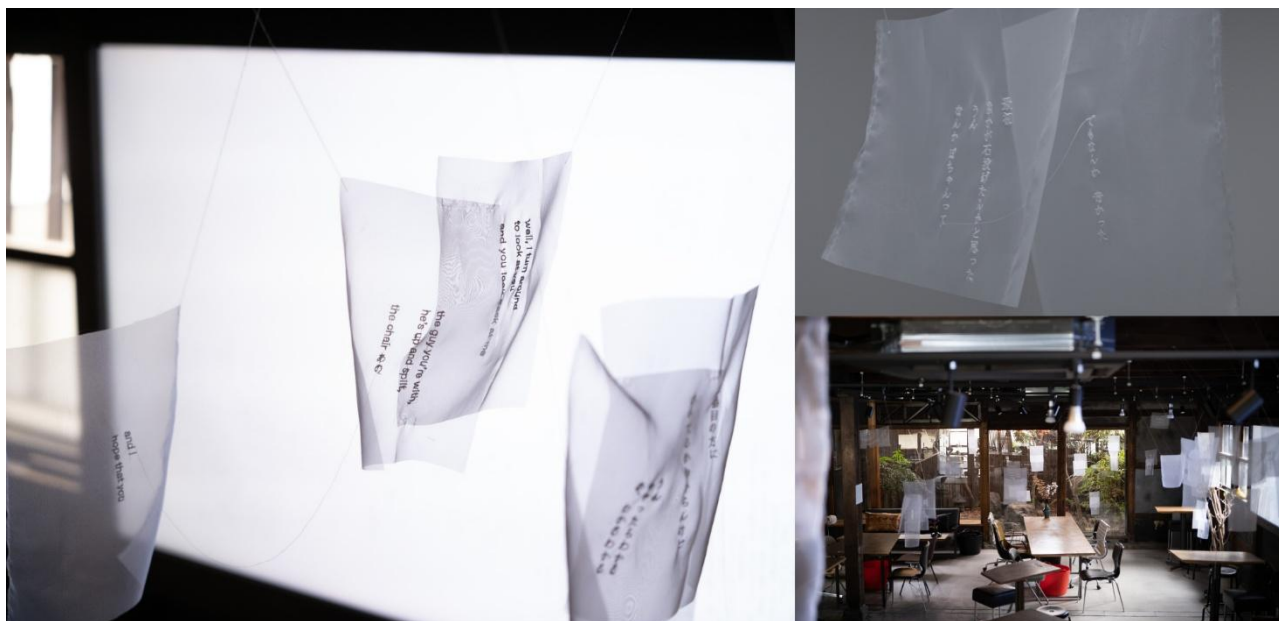


2026 年 8 月 19 日

京都駅前ホテルのアートギャラリーにて 2026 年 9 月 4 日(金)～10 月 4 日(日) 入場無料
都市に漂う音から芸術を紡ぐ現代アーティスト
小林 楓太氏の個展を開催

京阪グループのフラッグシップホテル「THE THOUSAND KYOTO (ザ・サウザンド京都)」(京都市下京区・総支配人:櫻井 美和)は、京都市立芸術大学との共催により、ホテル 1 階エントランス横のアートギャラリーにて小林 楓太氏の個展を2026 年 9 月 4 日(金)より開催いたします。



(左、右下)ホワイトノットノイズ、FabCafe Kyoto (右上)ホワイトノットノイズ、京都市立芸術大学

小林氏は、街の雑踏の一点に佇み、行き交う人々の断片的な会話を記録するフィールドワークから着想を得て、言葉や音を多角的に扱う現代アーティストです。作家により文字へと紡がれた街の声は、語り手の姿を離れてなお、確かな体温を宿し、個性性と匿名性のあわいに揺れる新たな「語り」となって立ち現れます。

代表作の《ホワイトノットノイズ》シリーズでは、空気中に流れ去る匿名の言葉を透け感のある布に刺繍し、空間に漂わせる独創的なインスタレーションを展開。音の生々しいリズムに沿って再構成された空間は、観る者に都市の新たな「語り」や偶然的な出会いを体験させ、国内外で高い評価を得ています。本展では、日常の何気ない声が芸術へと昇華される、瑞々しい感性に満ちた小林氏の世界観をぜひご体感ください。

ザ・サウザンド京都は、人にも、社会にも、未来にも心地よい感動体験をお届けする「サステナブル・コンフォート・ホテル」として、京都駅前からアートシーンを発信し、京都の文化・芸術活動を応援します。

小林 楓太氏個展「なんか いや もう 俺 あの 私 ちょっと」概要

【開催期間】 2026 年 9 月 4 日(金)～10 月 4 日(日)

※お好きな時間にご覧いただけます

【場 所】 1 階 アートギャラリー

【料 金】 無料

【共 催】 京都市立芸術大学

【U R L】 <https://www.keihanhotels-resorts.co.jp/the-thousand-kyoto/plan/special-offer/futa-kobayashi.html>



<ギャラリートークイベント> 展示解説

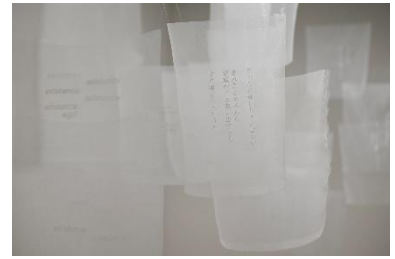
作品を鑑賞いただきながら、小林氏本人による展示の解説を行います。

【日 時】2026 年 9 月 6 日(日) 15:00～

【場 所】1 階 アートギャラリー

【料 金】無料（事前のご予約は不要です）

※解説は 30 分程度を予定しております。



ホワイトノットノイズ、京都市立芸術大学

小林 楓太 Futa Kobayashi

2001 年、長野生まれ。東京都立大学建築学科卒業。京都市立芸術大学大学院デザイン科プロダクトデザイン専攻修了。街に立ち、定点録音を行い、人の声を書き起こす。その反復を軸に制作を行う。一地点につき 30 分間立ち続けるというルールのもと、約 400 地点で記録を重ねてきた。主な展覧会に、「ホワイトノットノイズ」(FabCafe Kyoto、2024)、「Art Rhizome KYOTO 2025 | 逆旅京都 2」(京都市役所、2025)。現在、インセクトウェブにて『耳に積もる大阪』を連載中。



Instagram : https://www.instagram.com/fu_ha_kaededesu/

note : https://note.com/fair_plover288

ステイトメント(作家メッセージ)

街に立ち、定点録音を行い、人の声を書き起こす——という行為を私は続けています。

2023 年 11 月 11 日、23 時 22 分から 0 時 22 分。木屋町の青い自販機のそばに立っていた日のことです。陶酔した路上は、ひどく混沌としていました。立っている間はそれ以上のことを思う余裕もなく、喧騒に耐えるばかりだったのですが、部屋でそれを書き起こしていると、あの一時間が一本の針で縫われているような感覚を覚えました。

「もう裸眼やから今 目見えてへんねんなあ明かり」「もう終電はないで？」「もう一軒行こうか」「飲みの方はもう今日は終わりですか？」「もうレベチ具合がレベチすぎて」「もう連絡先交換しちゃった」「雨漏り今もう」「なんかもう今までの前科持ちすぎてあのう先払いさせられてた」「もう帰るん？」「もういいって もうそんなやめようみんな？平和でいこうや」「もう もう」……

その二音が、私の指に決まった運動をさせたのです。土曜日、終電間際、そして年の瀬を意識し始める立冬……いくつかの終わりがそれを誘っていたのかもしれませんが。もう。その夜、私は眠りの中で、青と緑と牛を見ました。

以来、指先の動きはいくつかの風景を運んできました。「いや」という喋り出しは、街がイイヤヤ期を続ける姿を、「なんか」は焦点の合わなさそのものを。いずれも、音としては透明に似た一瞬の声です。

本展では、京都市内各地で記録した膨大な会話の断片を、特定の言葉を串刺しにするように再配置します。本来交わるはずのなかった街の声は、特定の言葉によってゆるやかに結び直されます。それらの反復から、「街」という一人称の風景を立ち上げるを試みます。

SDGs を実現するライフスタイルを提案する

京阪グループの「BIOSTYLE PROJECT」について

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現しながら、SDGs 達成にも貢献していく。京阪グループでは、そんな循環型社会に寄与するライフスタイルを「BIOSTYLE(ビオスタイル)」として展開し、お客さまにご提案しています。規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、“人にも地球にもいいものごとを、毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現”に貢献するため、京阪グループにできる様々な活動を推進していきます。



▶ THE THOUSAND KYOTO は、2022 年 7 月に「千年ホテル」へリブランドし、快適さとサステナビリティを追求する京阪グループのフラッグシップホテルとして、BIOSTYLE PROJECT に認証されています。「千年ホテル」ならではの快適×サステナブルな体験やアクションを展開してまいります。

▶ 「BIOSTYLE PROJECT」について詳しくはこちら

<https://www.keihan.co.jp/corporate/sustainability/biostyle/>

THE THOUSAND KYOTO(ザ・サウザンド京都)

【所在地】〒600-8216 京都市下京区東塩小路町 570 番

【アクセス】JR 京都駅より東へ徒歩約 2 分

【階数】地下 1 階～地上 9 階（客室：3 階～9 階/ 222 室）

【公式 HP】<https://www.keihanhotels-resorts.co.jp/the-thousand-kyoto/>



＜このリリースに関するお問い合わせ・ご取材のお問い合わせ＞

京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社

ザ・サウザンド京都 広報担当 / セールス&マーケティング部

TEL : 075-351-0337 FAX : 075-343-3722 Email : press@keihanhotels-resorts.co.jp

